

(特非) サンクチュアリエヌピーオー

一般助成

2年目

実践

遠州灘浜松海岸に建設する 巨大防潮堤工事の環境影響調査



ビーチクリーンアップの様子

野生動植物の保護活動、
公開調査と
観察会の参加者数

12,800人

ビーチクリーンアップの
参加者数

12,000人

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

遠州灘海岸の巨大防潮堤工事が環境に与える影響を最小限に抑え、野生生物の繁殖地を守るために気象や地形の変化による野生動植物の生息数を調査し環境保全策を提言をする。

活動内容

巨大防潮堤工事が環境に与える影響を映像や気象観測調査として実施、影響が野生生物に与える影響を判断するため、アカウミガメ、コアシサシの繁殖調査を実施した。また、調査を観察会として一般公開で実施し、保護啓発事業を行った。浸食の激しいところでは、砂浜の回復事業を行い、ビーチクリーンアップも行った。



親子280人を対象とした
アカウミガメの保護啓発

今後の課題

1年目・2年目は、平面的な環境調査であった。巨大堤防工事の全体を把握するためには、上空からの調査も必要となる。今後は、多面的に調査を行うための機器の導入を考えていく。

成果と工夫した ポイント



成果

風速風向計を設置して365日連続した観測データを取得。野生生物の調査進入路は、県と交渉し確保出来た。ネイチャーセンターに海岸監視カメラを設置して1日12時間継続して変化する環境映像を記録した。

工夫

慢性的なゴミ問題の解決策として、常にビーチクリーンが出来るような仕組み作りに取り組み始めた。